

平成 29 年 度 事 業 報 告 書

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

I 事業実施概要

今年度は、枚方市政 70 周年の年であり、70 周年記念関連事業として位置づけられたプロジェクトも多く実施しました。「バス！のってスタンプラリー」の夏休み期間中に開催した<夏休み探偵団>と 9 月に実施した「きらっと！ひらかたじまん」の連続開催もその大きなものでした。他に「ごみ減量アイデアコンテスト」や「エコフォーラム」も枚方市と協働で盛大に開催し、多くの市民に対して環境啓発活動をすることができました。

こうした事業を実施した一方で、その役割を終え終了した事業もあります。枚方で初めての市民共同発電所として、10 年前に設置した「おひさま発電所」事業です。当初、太陽光発電は認知こそされていましたが、今ほどの普及は見られない状況にありましたが、この 10 年間で太陽光発電は飛躍的に普及が拡大し、おひさま発電所はその普及啓発の役割を十分に果たし、平成 29 年 10 月をもって当該事業を終えました。しかし、太陽光以外の自然エネルギーの普及は、日本ではなかなか進んでいない現状があります。そういった中、今後枚方市内で可能な自然エネルギーとして、小規模な水力発電に着目し「自然エネルギー」の普及啓発事業としてピコ水力発電に対する啓発事業に取り組みました。

環境教育の面では、学校の児童を対象とした出前授業を中心に、スターター講座や自然エネルギー学校、ミニ講座など子どもから大人までの環境教育にも力をいれました。その結果、募集を上回る応募のある講座も多くあり、市民の目線にあった活動ができていることを実感できました。

II 事業の実施に関する事項

【1】特定非営利活動に係る事業

1 地球温暖化対策事業

今年度は、従来の省エネ啓発事業に加え「ごみ減量推進事業」にも力を入れて取り組みました。

【対象者】市民、事業者、行政

【収入】753,940 円

【支出】676,194 円

(1)「我が家のエコノート」普及事業

「我が家のエコノート普及事業」は 4 年目に入りました。取り組みを始めてからの継続率が大変高く、3 年以上継続いただいた方が 62 名もおられます。また、新規に取り組みされる方も 29 名でした。「環境家計簿」という他自治体等では継続の難しいこの取り組みが、ここ枚方で非常にうまく定着・運用されていると自負しています。

【対象期間】平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【受付期間】平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【応募総数】今年度新規参加者 29 名 今年度提出枚数：492 枚、
延べ参加者数 255 名 延べ提出枚数 1594 枚
配布枚数 約 13,500 枚

【後援】枚方市

【協 賛】株式会社コマツ、京都信用金庫枚方支店、株式会社ホワイトマックス、
大阪ガス株式会社、恩地食品株式会社、関西リサイクルシステムズ株式会社、呼人
堂、農園 杉・五兵衛、株式会社たまゆら、枚方自動車教習所、おおさかパルコープ

(2) 省エネコンテスト実施事業

「ひらかた夏の省エネコンテスト」は、今年で6回目となりました。それでもなお新規参加者が2割を超え、省エネに対する市民の意識は高いことがわかりました。また、今年は、応募者全体の使用量の合計が電気・ガス・水道すべての項目において応募者の前年合計より削減されていました。東北大震災の翌年からスタートしたこの取り組みですが、当初非常に高かった削減率も現在は底打ちとなりました。これは意識の低下ではなく“省エネは当たり前”であり、できることは既に実践していることの結果であることがデータやコメントから読み取れました。こうした状況から、本事業の役割が終了したと捉え、この事業を今年度をもって終了することとしました。

【対象期間】平成 29年7月、8月、9月

【受付期間】平成 29年 10月 10日～平成 29年 10月 20日

【応募総数】123名 （応募用紙 配布数：13,100枚）

【後 援】枚方市

(3) ごみ減量推進事業

「家庭ごみの減量」を目的として始めた事業で、今年度は「ごみ減量アイデアコンテスト」を行いました。子どもから大人まで多くのアイデアが集まりました。そのアイデアは大きく分類すると①行政や社会への要望、②自らが行っている工夫、③あったらいいなあというユニークなもの、のどこかにあてはまるものでした。コンテストの表彰式は、「ごみ減量フェア」にて行い、これらをまとめた報告書も作成しました。このコンテストを通して市民への意識啓発を行うことができました。また、集まったアイデアから市民の考えを把握することができ、今後の事業展開への足掛かりを得ることができました。

【実施期間】平成29年7月～11月

【応募総数】79名 （大人32名 子ども47名）

【入賞者】 優秀賞2名 審査員特別賞3名

【後 援】 枚方市

※この事業は、一般社団法人セブンイレブン記念財団 の助成を受けました。

(4) ライトダウンキャンペーン実施事業

枚方市の「ひらかたライトダウン2017」の呼びかけに応じ、6月21日の「夏至ライトダウン」と7月7日の「七夕ライトダウン」の夜20:00～22:00までの一斉消灯に協力してもらうよう会員に呼びかけました。

【実施期間】平成 29年6月21日、7月7日

2 環境講座開催事業

今年度も環境活動に取り組む市民の輪を広げるため、下記4講座を実施しました。

(1) 自然エネルギー学校2017の開講事業

今年も「自然エネルギー学校2017」を3回実施しました。体験・講座・見学で構成し、子どもたちには「自然エネルギーってなんだろう」という興味を、大人の方には自然エネルギーの普及を考えてもらえる機会としました。本講座は、自然エネルギー普及のための啓発活動の一環とし

て8年目となりましたが、今年度も募集を上回る応募があり、自然エネルギーへの関心の広がりを実感させられました。

【収入】 78,000円

【支出】 72,290円

【対象者】 市民・事業者

<第1回 親子で学ぼう自然エネルギー「ソーラーカー工作&体験」>

【開催日時】 平成29年8月20日(日) 13:30~15:00

【会場】 サプリ村野南館2階 環境保全研修室

【内容】 ミニソーラーカー作りと自転車発電・ソーラースクーター体験

【受講者数】 計81名(子ども46人 大人34人)

<第2回 施設見学「東部清掃工場」&「村野浄水場」>

【開催日時】 平成29年9月21日(土) 13:00~15:00

【内容】 東部清掃工場の廃熱発電 および 村野浄水場の高低差水力発電 の見学

【受講者数】 計22名(スタッフ含む)

<第3回 「市内自然エネルギースポット見学」>

【開催日時】 平成29年10月21日(土) 9:00~16:00

【内容】 おひさま発電所(光の峰保育園設置の第1号市民共同発電所)・穂谷でピコ水力発電装置・こもれば水路のピコ水力発電 見学後、サプリ村野にて青木先生の講演と参加者意見交換・交流

【受講者数】 計14名

(2) 環境活動スターター講座の開講事業

「歩いて、観て、知って環境を考えよう」と題して、わがまち枚方の歴史的なまちを中心にウォーキングを中心とした講座を開催しました。参加者に、枚方の残したいところや魅力を認識してもらい、それをどう保全していくかを考えてもらうきっかけとしました。(10項 まちづくり推進事業で関連報告を記載)

【収入】 24,200円

【支出】 24,853円

【対象者】 市民・事業者

<第1回 枚方から村野古道ウォーク>

日時: 平成29年4月8日(土) 9:30~12:00

場所: 岡東中央公園~京阪村野駅

参加人数: 29名

<第2回 茄子作古道ウォーク>

日時: 平成29年11月11日(土) 9:00~12:00

場所: 京阪村野駅~交野市駅

参加人数: 36名

(3) 環境教育担い手育成講座「くらわんか塾」開講事業

今年度は、受講しやすいように日を2日間に絞りました。1日目は、枚方市の環境の取り組みやひらかた環境ネットワーク会議の取り組み、環境問題等について知ってもらい、2日目は、出前授業の実際を学び、ロールプレイングで授業実践の体験してもらいました。

またオプション企画として、今後の環境啓発活動に活かしてもらえるよう、プラスチック製容器包材処理施設「北河内4市リサイクルプラザ“かざぐるま”」及び家電リサイクル会社「関西リサイクルシステムズ株式会社」の見学会も実施しました。

【開催日時】平成29年7月1日（土） 10：00～15：00
 平成29年7月8日（土） 10：00～15：00
 平成29年7月26日（水） 9：00～12：30

【内 容】「枚方市の環境と環境の取り組みを知ろう」
 「ひらかた環境ネットワーク会議の役割と取り組みを知ろう」
 「環境教育、環境問題について学ぼう」
 「出前授業って？」
 「ロールプレイングで出前授業を体験しよう」
 「環境関連施設を見学し、環境の取り組みを知ろう」

【会 場】サブリ村野環境保全研修室

【受講者数】講座 計10名（新規9名） 見学会 18名

【対 象 者】市民

【収 入】 22,500円

【支 出】 22,031円

(4) 環境ミニ講座事業

環境情報コーナーができた時からスタートしたこの講座も5年目となりました。講座終了後、「次はいつ？」と楽しみにしてくださる方も多くなりました。また、参加者の方から「家でも作ったよー」、「暮らしのヒントになったよー」といった声も多くいただけ、家庭でできる小さなエコにつなげることができました。

【収 入】 9,000円

【支 出】 16,597円

【事業期間】平成29年6月～平成30年3月

【実施内容・参加者数】 全9回 216名参加

実施日時	実施内容	参加者数
6月29日（木）13：30～15：00	エアコン室外機カバーを作ろう！	18
7月17日（月・祝）13：30～15：00	「天の川探検隊！PART2」	51
8月24日（木）13：30～15：00	「エコクッキング 簡単ティラミス！」	22
9月28日（木）13：30～15：00	「片付け力を磨こう」	21
10月26日（木）13：30～15：00	「袋でもみもみ簡単クッキー」	19
11月30日（木）13：30～15：00	「クリスマスオーナメント作り」	24
1月25日（木）13：30～15：00	「節電効果があるって本当？」	8
2月22日（木）13：30～15：00	「レンジで簡単フルーツ大福」	24
3月1日（木）13：30～15：00	「レンジで簡単フルーツ大福」	29

3 中間支援事業

他の環境関連団体を支援することにより、環境活動の輪を拡げ、環境施策推進へとつなげることを目的として下記の事業を行いました。

(1)環境団体活動交流会開催事業

支援事業やエコフォーラム、NPO フェスタや講座あるいは事務所での相談業務などを通じて交流を行いました。

【収入】0円

【支出】19,480円

(2)環境団体活動支援事業

①レンタサイクル支援事業

エコサイクルへの仲介支援として行っている事業で、一時休止していた「引き取り自転車の受付」も再開しました。

【事業期間】平成29年4月1日～平成30年3月31日

【実施場所】市営牧野東自転車駐車場

【対象者】市民

【収入】78,400円

【支出】128,800円

②エコキャップ等回収支援事業

昨年度、一時回収を休止していましたが、引き取り依頼をされる団体も減ることなく、今年度も依頼団体への回収と運搬を行いました。エコキャップ回収は、市民にとって、大変取り組みやすい環境活動であることを改めて実感しました。プルタブは当団体の会員が熱心に取り組みを継続しています。他にも、古切手と使用済みカードを回収しています。

【事業期間】平成29年4月1日～平成30年3月31日

【実施場所】サプリ村野環境情報コーナー および 市内学校・施設など

【対象】市内全域

【収入】0円

【支出】9,000円

○エコキャップ回収

【回収総数】313,900個(730kg) ごみとして焼却した場合のCO₂発生量2,295.5kg-CO₂

(累計 2,859,922kg ごみとして焼却した場合のCO₂発生量9,008,754.3kg-CO₂)

【回収方法】事務所にて拠点回収および9団体の回収訪問

【引き取り団体】牧野小学校、蹉跎小学校、山田東小学校、西牧野小学校、招提中学校、渚西中学校、桜丘中学校、サテライトなごみの里、京都信用金庫枚方支店

【運搬回数】処理業者への運搬3回

○プルタブ 【プルタブ回収重量】74.7kg

③活動支援事業

環境活動団体への相談業務やチラシ・ポスター・HP等の制作支援を行いました。PRしたくても制作者がいない、予算がない、どのように進めればいいのかわからないなど様々な要望に細やかに応え、各団体の活動をより活発なものにする支援ができました。

また、「琵琶湖・淀川流域圏連携交流会」および「天の川サミット」の事務局も当団体で担っています。特に今年度は天の川サミット連絡会開催市としての大きな役割も果たしました。

【対象者】会員・その他の環境団体

【支援団体・事業所】

天の川サミット、国際ソロプチミスト枚方中央、関西外国語大学国際親善部、枚方エコサイクル、ひらかた市民菊人形の会、枚方市菊花展実行委員会、NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会 琵琶湖・淀川流域圏連携交流会 等々

【収 入】 113,100 円

【支 出】 45,475 円

4 ひらかたエコフォーラム開催事業

今回で12回目となりました。昨年同様枚方市との共催で開催し、来場者は前年を上回りました。午前の部はホールで、学校等の環境の取り組み発表や各種環境表彰、省エネコンテスト表彰・我が家のエコノート継続認定式を行いました。午後の部では、枚方市政施行70周年事業の一環として、ごみ減量業務室との共催で「災害ごみが語ること」をテーマに基調講演を行い、その後のグループディスカッションでは当団体のメンバーが進行役を務め、参加者に「災害とごみ」について、あらためて考えてもらうことができました。またロビーでは、8つのブースに各団体が出展し、活動展示・クラフト・クイズなど、工夫して来場者に楽しんでもらいながら環境活動への取り組み啓発を行っていました。

【開催日時】 平成30年2月3日(土)10:00~14:00

【会 場】 メセナひらかた会館

【来場者数】 約430人

【共 催】 枚方市、枚方市教育委員会

【対 象 者】 市民、事業者、行政

【出展団体】 天の川を清流にする会、大阪ガス株式会社、関西リサイクルシステムズ株式会社、NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会、ネットヨタ新大阪株式会社枚方店、枚方市土木部公園みどり推進室、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議、淀川管内河川レンジャー

【収 入】 0 円

【支 出】 254,142 円

5 環境情報コーナーの運營業務委託事業

【収 入】 160,864 円

【支 出】 265,997 円

① 環境情報コーナーの管理運營業務

環境情報コーナーができて5年が経ち、各種講座や子育て支援室を通じてこのコーナーの存在を知っていただき、子どもから大人まで幅広い年齢層の方に多くの方に来ていただけるようになりました。昨年度末にパネル設置用のレールを取り付け、たくさんのパネルを展示できるようになり「緑のカーテンコンテスト」や「ごみ減量アイデアコンテスト」の入賞作品も展示しました。昆虫の標本も二つ増え、「水槽」とともにそれを目当てに訪れる幼児も多くいました。

【事業期間】 平成29年4月1日~平成30年3月31日

【実施場所】 サプリ村野南館2F 環境情報コーナー 環境保全研修室

【対 象 者】 市民、活動団体、事業者

【環境情報コーナー各種利用状況】

	利用回数	延べ来訪者数
環境情報コーナー	—	3029 人（大人 1818 人、子ども 1211 人）
環境保全研修室	128 回	1212 人
エコドライブシュミレーター	76 回	—
エコナビ貸出	9 台	新規 1、更新 8

② 緑のカーテン事業・ゴーヤの苗配布事業

枚方市の「緑のカーテンモニターへの苗配布」とその関連業務を請け負い、168 名の受付・苗の配布、報告書の回収、アンケートの集計を行いました。又、ゴーヤの育て方がわからない方を対象にゴーヤのオーナーを募集し、サプリ村野の 1 階花壇で 16 組の方が「MY ゴーヤ」としてゴーヤを育てました。「MY ゴーヤ」をきっかけにエコノートや環境ミニ講座の参加者になる方も多く、当団体の事業を知ってもらえるきっかけにもなりました。

【事業期間】平成 29 年 5 月～平成 29 年 9 月

【実施場所】サプリ村野南館 2 F 環境情報コーナー 環境保全研修室

【対象者】市民

6 総会及び会員交流会等開催事業

① 総会及び交流会

下記の通り、ひらかた環境ネットワーク会議の総会および交流会を開催しました。

◎ 通常総会および交流会

【開催日】平成 29 年 5 月 27 日（土）

【場 所】サプリ村野南館 2 階 環境保全研修室

【内 容】(第 1 部)平成 29 年度通常総会 13:30～14:32 分

正会員数：102 名

出席者数：65 名（本人出席 27 名、委任状出席 23 名、議決権行使書出席 15 名）

議 題：第 1 号議案 役員選任に関する件

第 2 号議案 平成 28 年度事業報告書案承認の件

第 3 号議案 平成 28 年度活動決算書案承認の件

第 4 号議案 平成 29 年度事業計画書案承認の件

第 5 号議案 平成 29 年度活動予算書案承認の件

【対象者】会員

【収 入】20,000 円

【支 出】20,928 円

7 広報事業

(1) 会報誌「環境ひらかた」発行事業

会員をはじめ、広く市民に向けて当団体の取り組みや活動、環境の課題等の情報発信するために年 4 回発行しました。特に、「環境トピックス」では、その時のホットな話題や注目すべき環境問題についてわかりやすい解説を交え情報提供しています。

この会報誌は、より多くの方に読んでもらおうと、会員以外の関係団体・事業者にも配布する

とともに、生涯学習市民センター・図書館等の公共施設等にも設置しました。

【発行部数】 3100 部(A4版8ページ、全面カラー刷り)

No.53 春号 平成29年4月1日発行 800部配布

No.54 夏号 平成29年7月1日発行 800部配布

No.55 秋号 平成29年10月1日発行 700部配布

No.56 冬号 平成30年1月1日発行 800部配布

【対象者】 市民、事業者

【収入】 220,000円

【支出】 245,605円

(2) ホームページの管理運営事業

5月よりホームページへのアクセス統計をとりはじめました。5月から3月までのアクセス数は、18093件、一日平均は約50件でした。7月8月の夏のアクセスが圧倒的に多く、ページ別では、トップページのお知らせ以外では、「市制施行70周年記念事業」バスイベントのお知らせ(1422件) 総会・理事会議事録(750件) 環境にやさしいレンタサイクル「ひらりん」(711件)へのアクセスが大変多くありました。

【対象者】 会員、市民、事業者

【収入】 10,000円

【支出】 7,642円

(3) その他の広報活動

広報ひらかたへの掲載、五六市やNPOフェスタ、他団体イベントへの出展、各種メディアへの出演など多様な広報活動を行いました。

◎情報紙・WEB掲載

枚方市広報・京阪タイムリー

インターネット上の情報サイト(「いこーよ」「まいふれ」「ひらかたつーしん」)、

◎テレビ・ラジオ出演等

<FMひらかた> 自然エネルギー学校、バススタンプラリー、エコフォーラム

◎街宣・他団体主催によるイベント参加

8月13日 五六市 6名参加

10月1日 NPOフェスタ 8名参加

10月27日 関西外大祭 5名参加

11月5日 ゴミ減量フェア 9名参加

11月26日 国際プロチミスト枚方ー中央 チャリティバザー 5名参加

◎その他

<子育て支援室PR> 随時チラシ設置や直接PRを行っています。

<メールマガジン> 会員に向けてイベント情報や他団体の情報を掲載し2回発行しました。

(「メルマガ 環境ひらかた」 No. 153~154)

【収入】 0円

【支出】 0円

8. 共同発電所事業

(1) 第1号市民共同発電所管理事業

2007年に枚方市発の市民協働発電所として、光の峰保育園にソーラーパネルを設置し、ひらかた市民共同発電所「おひさま発電所」として10年間稼働してきました。この発電所は、再生可能エネルギーを市民にアピールするものであると共に、自然エネルギー学校の見学施設として、市民への啓発活動に活用してきましたが、当初の契約に則り、今年度をもって発電所は光の峰保育園に帰属することとなりました。それにあたり、光の峰保育園、国際ソロプチミスト枚方・中央、ひらかた環境ネットワーク会議の各代表がサブリ村野で完了の契約書を取り交わしました。

【収 入】 134,423 円

【支 出】 134,423 円

(2) 第2号市民共同発電所設置事業

太陽光発電以外の自然エネルギーとして、ピコ水力発電を広く市民に知ってもらうと共に、枚方市が再生可能エネルギーの普及に力を入れていることを感じてもらうために、ピコ水力発電装置の常設に向けての検討を行ってきました。その第一段階として今年度は、香里団地内の人工水路“こもれば水路”に、一時設置させてもらえるよう枚方市と交渉しました。その結果、10月の自然エネルギー学校の日に一時設置することができ、参加者や周辺市民に見てもらうことができました。

【対 象 者】 市民

【収 入】 55,985 円

【支 出】 55,985 円

9 モビリティ・マネジメント事業

個人や地域のモビリティ（移動状況）が、社会にも個人にも望ましい方向へ 自発的に変化することを促す取組みとして下記の事業を行いました。

【収 入】 2,573,872 円

【支 出】 1,972,443 円

(1) 「ひらかた交通タウンマップ」の作成配布事業

公共交通情報を伝える事で、公共交通の利用促進を図り、車社会がもたらす環境負荷を少しでも減らすことを目的に、今年も転入者向けに「ひらかた交通タウンマップ」を配布しました。このマップの裏面には、電車やバスのお得で便利な利用方法がわかりやすく解説されており、転入者に限らず広く市民に役立つものとなっているため、転入者以外にもマップを希望される方がたくさんおられました。そのような状況をうけ、図書館や環境情報コーナーにも置いて、希望者には随時無料でお渡ししました。

【対 象 者】 市民

【内 容】 マップの更新2回(10月：7,000部発行、3月：7,000部発行)

転入者向け啓発チラシ10,000部発行(A1 カラー両面刷り A4 判仕上げ)

(2) 「路線図」作製事業

京阪枚方市駅設置用、香里園駅設置用、枚方市駅北口時刻表用、枚方市駅南口時刻表用、枚方～高槻・茨木市域時刻表用、京阪香里園～交野市周辺時刻表用、長尾駅時刻表用、各路線図データを作製しました。

交野市路線マップは、交野市役所より28年度見積もり依頼があり29年度受注見込みでしたが、交

野市役所の都合により、見送りとなりました。

(3) 公共交通利用促進事業

28年度開発した「ひらかた交通すごろく」を枚方市及び交通事業者とともに、「バスのってスタンプラリー」時及び「樋之上こども食堂」にて実施し、併せて出前授業実践者育成を行いました。

【対象者】市民

【実施日】9月10日、2月7日

(4) 公共交通利用活性化イベント事業

環境に優しい公共交通の利用促進を図ると共に、市を再発見してもらう事でまちづくりへの関心を高めようと、今年度もバスを使つてのスタンプラリーイベントを下記の通り、春・秋の2回実施しました。実施に先立って、市内の名所旧跡を記載した案内マップを兼ねたチラシを作成し、市内各小中学校児童生徒に配布する事で、広く市民に公共交通を利用する事の意義や大切さを学んでもらい、併せてひらかたを再発見してもらうきっかけとなりました。参加者にとっては、バスの良さを体験してもらうとともに、枚方市を見直してもらえる良い機会とする事が出来ました。

【対象者】市民

◎「第23回バス！のってスタンプラリー～桜めぐり～」

【開催日時】平成29年4月1日(土)8:30～16:00

【参加者数】445名(大人246名、小児136名、幼児63名)

【内 容】愛媛大学大学院松村教授による「バスとまちの話」の講演後、枚方市内の桜の名所にスタンプを設置し、花を楽しみながらスタンプラリーを行えるような内容としました。お花見や身近なレジャースポットへ行く場合も環境負荷が少なく、駐車場や飲酒運転などの心配もないバスの利用が便利であることを体感してもらえる機会となりました。残念ながら2分咲きでしたが、スタンプポイントを全て回る「全制覇」の該当は13グループでした。

<集合・解散> 岡東中央公園(枚方市役所横)

<桜ポイント13カ所>

北山公園、中の池公園、山田神社[田ノ口]、北谷川公園、百済王神社、王仁公園(平和の像の辺り)、水面廻廊、あんご公園、香里ヶ丘図書館、岡本町公園(呼人堂、北村みそ本家)、せせらぎ水路、京阪稲荷神社。

<参加賞>森下仁丹(株)「マルチビタミン&ミネラル7日分」、(株)ブルーミッシュ
マドレーヌ各500個(参加者1人に3種を1セットとして渡す)

◎「第24回バス！のってスタンプラリー 夏休み探偵団」

【開催日時】平成29年7月22日(土)～8月27日(日)

【参加数等】探偵キット発行部数313部 応募223人

(大人100人 小児84人 幼児39人)

【内 容】夏休みの過ごし方の一つとして、環境にやさしく渋滞対策や温暖化対策に寄与する公共交通を利用して、親子で枚方市の歴史や良さを学べる機会の提供を目的として開催しました。

<参加賞>全員にひこぼしくん缶バッジ。他、(株)Mizkan「お寿司の素と炊き込みご飯の素」セット、森下仁丹(株)商品、(株)ブルーミッシュ商品、ひらかたパーク入場券やスカイバス招待券等抽選で進呈。

<スタンプポイントとゴール>

スタンプポイント：片埜神社、百濟王神社、鍵屋資料館（休館日は別館枚方つうしん）

中央図書館（図書館休館日の毎週金曜日と毎月第4火曜日は、輝きプラザきらら文化財資料展示ルーム対応。但し、8/22は両方お休みなので図書館守衛室にて対応）、山田神社（宮ノ前橋）

秘密の場所：観音山公園

ゴール：香里ヶ丘図書館（休館日は香里ヶ丘支所）

◎「第25回バス！のってスタンプラリー ～きらっと！ひらかたじまん～」

【開催日時】平成29年9月10日（日）8:30～16:00

【参加者数】235名（大人145名、小児67名、幼児23名）

【内容】環境にやさしく渋滞対策や温暖化対策になる公共交通利用促進のために、乗り方を学ぶ機会の提供と、枚方市の素晴らしさを体感していただくために開催している「バス！のってスタンプラリー」、市制施行70周年記念事業として、特別バージョンで実施しました。8時過ぎから多くの方々か岡東中央公園に集まり始め、9時から市長挨拶、愛媛大学大学院 松村教授による「バスとまちのお話」のあと、ルール説明などを経て、それぞれ最初にスタンプシートで指定されたポイントに向かって、出発していただきました。スタンプポイントを全て回る「全制覇」の該当は18グループでした。

<集合・解散> 岡東中央公園（枚方市役所横）

<スタンプ・クイズポイント13カ所> くずはモール SANZEN-HIROBA、コマツ大阪工場、市立ひらかた病院（クイズ）、山田池公園、茶通仙 多田製茶、百濟王神社、淀川資料館、塩熊商店、鍵屋別館 枚方つーしん、淀川河川公園 公共交通利用促進ブース、光善寺、こもれび水路（クイズ）、T-SITE 5階

<参加賞> 森下仁丹(株)「マルチビタミン&ミネラル7日分」、(株)ブルーミッシュ マドレーヌ、(株)Mizkan おむすび山を500個ずつ準備

10 まち美化活動推進事業

美しいまち並みを保全するため、特に歴史的文化遺産として残していきたい重点地区を中心に、地域のイベントに合わせて、清掃活動を月2回のペースで実施した。

※収入と支出は、2環境講座を参照

(1) 環境美化推進事業

- ①五六市会場周辺美化活動 10回
- ②楠葉中央公園、二宮神社周辺等、樟葉西小学校周辺美化活動 10回
- ③天の川クリーンウォーク 参加（5名）

(2) 良好な景観形成の推進事業

10月15日、交野神社に花のプランターを設置した。

(3) 歴史文化遺産の保存と活用事業

ひらかたの歴史文化や環境を知ってもらうため、「歩いて・観て・知って環境を考えよう」をテーマに市内の歴史的な街道を中心としたウォーキングを2回実施した。

※詳細は、P5 2- (2) 環境活動スターター講座の開講事業の項参照

(4) フォトラリーイベント実施事業

今年度は事情により実施していない。次年度から、形を変えて実施するため、その企画検討を行った。

11 環境教育推進事業

(1) 環境教育の出前授業の実施事業

枚方市内学校園などで、環境教育“出前授業”を実施しました。出前授業を通して、子どもたちの環境問題についての関心を高め、意識啓発をすることができました。

今年度は、以前出向いていたが、その後依頼が途絶えていた樟葉小、殿二小での依頼が復活すると共に、新たに樟葉北小、西牧野小で実施する事ができました。また、昨年同様、自然エネルギー部会との連携による出前授業も行ないました。さらに、今年度は、樟葉北小からの依頼に基づいて開発した新メニュー「エジソンと八幡の竹」及び、こちらも新メニュー「使い捨てについてのペットボトル版」の授業をそれぞれ2校で実施し好評を得ました。その他、PTAや各種団体主催の「イベント」への参加も3件ありました。

【実施テーマ】 エネルギー8件(7件)、私の木0件(0件)、酸性雨3件(3件)、風呂敷0件(0件)、わたしたちの暮らしとエネルギー2件(2件)、地球温暖化0件(0件)、地球環境0件(0件)、間伐材1件(0件)、自転車発電2件(2件)、使い捨てレジ袋1件(4件)、使い捨てペットボトル2件(0件)、4Rについて2件(2件)、エジソン2件(0件)、ゴミ分別1件(0件)、エネルギー省エネ行動2件(2件)

※カッコ内は昨年度の件数、最後2件は事務局主導、中宮小いきいきはサポートだけの為未計数

【実施校】 蹉跎西小・樟葉小・殿山第二小学校・樟葉西小学校・招提小学校・桜丘小学校・樟葉北小学校・西牧野小学校・(長尾小PTA)・(ひらかた自然エネルギー学校)・(自然エネルギー学校ねやがわ)

※カッコ内は各種団体など

【実施日数】 26日(学校23日+団体等3日)(昨年度22日(学校18日+団体等4日))、実施回数(時限数)としては40回+3日

【派遣人員】 延べ165名(昨年度延べ125名)

【対象者】 市内小中学校の児童・生徒、各種団体

【収入】 170,084円

【支出】 168,205円

(2) 環境啓発・環境教育ツール作成事業

今年度は、出前授業で使用するツールとして、新たに「ソーラー噴水の高さの計測器」を作成しました。新メニューの開発では、「エジソンと八幡の竹」と「使い捨てについてのペットボトル版」の二つのプログラムを作成し実施しました。また、回数増加に伴う機器類の破損、動作不良が多くなり、メンテナンスも行いました。

【収入】 50,000円

【支出】 7,393円

12 S-EMS構築・運用の支援事業

枚方市独自の小中学校、幼稚園を対象とした環境マネジメントシステムの取り組みがよりスムーズにかつ推進するように学校園を訪問し、様々な情報提供やアドバイスをするなどの支援を受託事業として行いました。今年度は、3巡目として23校を訪問し支援しました。

また、年一回行なわれている環境管理推進員を中心とした教職員向けに研修会では、今年度、7月31日(月)に教育「持続可能な社会の実現に向けて」～環境省におけるESDの取組～及び、「これからの環境指導要領の変革について」の2つをテーマとして、環境省近畿地方環境事務所環境対策課長の川崎雅貴氏、奈良教育大学准教授の中澤静男氏を講師に迎え実施しました。

【支援実施場所・回数】 合計23校園

7月の支援：招提北中学校、舟橋小学校、津田南小学校、田口山幼稚園、長尾西中学校、蹉跎西幼稚園、渚西中学校。計7校

8月の支援：長尾小学校、山田中学校、蹉跎中学校、桜丘中学校、東香里小学校、樟葉北小学校、藤坂小学校、川越小学校、平野小学校、伊加賀小学校、中宮北小学校。計11校

9月の支援：蹉跎東小学校、桜宮北小学校、山田東小学校、西長尾小学校。計4校

10月の支援：菅原東小学校。計1校

【S-EMS 環境推進員研修】 2017年7月31日 きらら大会議室

講師： 環境省近畿地方環境事務所環境対策課長の川崎雅貴氏
奈良教育大学准教授の中澤静男氏

S-EMS 環境推進員研修に参加総教職員434人

【実施日時】 4月1日～3月31日

【対象者】 市民、教育委員会、教職員

【収入】 1,570,000円

【支出】 1,365,691円

13 その他

① 会員数

年度初めに会費未納・転居等による減少がありましたが、その後は、会員による会員拡大活動により新たに12名、1団体の入会があり、期首より1名増えました。

<平成30年3月31日 現在 会員数>

	正会員	賛助会員	計
個人	78	46	124
非営利団体	16	3	19
営利団体	4	0	4
計	98	49	147

②平成29年度理事会の開催

◎第1回理事会

日時：平成29年5月10日(水) 10:30～11:20

場所：サプリー村野 環境保全研修室

理事総数：16人

出席者数：15名(本人出席10名、議決権行使書：1名、委任状出席5名)、欠席1名

議題：第1号議案 役員候補者の選任に関する件

- 第 2 号議案 運営委員任命の件
- 第 3 号議案 平成 28 年度事業報告書(案)承認の件
- 第 4 号議案 平成 28 年度活動決算書(案)承認の件
- 第 5 号議案 平成 29 年度事業計画書(案)承認の件
- 第 6 号議案 平成 29 年度活動予算書(案)承認の件

◎第 2 回理事会

日 時：平成 29 年 11 月 2 日(日) 10：30～11：18

場 所：サプリ村野 環境保全研修室

理事総数：17 名

出席者数：17 名（本人出席 15 名、委任状出席 2 名）

報 告：平成 29 年度中間事業報告及び予算の執行状況について

③運営委員会の開催

回	日 程	時 間	場 所
第 1 回	平成 29 年 4 月 20 日 (木)	18：00～20:00	環境保全研修室
第 2 回	平成 29 年 6 月 27 日 (木)	14：00～16:00	環境保全研修室
第 3 回	平成 29 年 7 月 27 日 (木)	14：00～16:00	環境保全研修室
第 4 回	平成 29 年 9 月 5 日 (火)	14：00～16:00	環境保全研修室
第 5 回	平成 29 年 10 月 17 日 (木)	14：00～16:00	環境保全研修室
第 6 回	平成 29 年 11 月 28 日 (木)	14：00～16:00	環境保全研修室
第 7 回	平成 29 年 12 月 18 日 (木)	14：00～16:00	環境保全研修室
第 8 回	平成 30 年 1 月 15 日 (月)	15：30～17:00	環境保全研修室
第 9 回	平成 30 年 2 月 20 日 (木)	14：00～16:00	環境保全研修室
第 10 回	平成 30 年 3 月 16 日 (金)	14：00～16:00	環境保全研修室

④枚方市地球温暖化対策事業推進チーム会議の開催

回	日 程	時 間	場 所
第 1 回	平成 29 年 4 月 24 日 (月)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 2 回	平成 29 年 5 月 26 日 (金)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 3 回	平成 29 年 6 月 22 日 (木)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 4 回	平成 29 年 7 月 12 日 (水)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 5 回	平成 29 年 8 月 29 日 (火)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 6 回	平成 29 年 9 月 25 日 (月)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 7 回	平成 29 年 10 月 11 日 (水)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 8 回	平成 29 年 11 月 13 日 (月)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 9 回	平成 29 年 12 月 4 日 (月)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 10 回	平成 30 年 1 月 15 日 (月)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 11 回	平成 30 年 2 月 15 日 (月)	10:30～12:00	環境保全研修室
第 12 回	平成 30 年 3 月 13 日 (月)	10:30～12:00	環境保全研修室

⑤その他参加したミーティング

◎おおさかスマートエネルギー協議会・家庭部門会議

◎琵琶湖淀川流域圏連携交流会幹事会

◎4市合同天の川サミット連絡会

⑥団体・審議会等への派遣

◎枚方市環境審議会

期 間：平成29月～平成30年3月

派 遣：委員として1名

◎枚方市地域産業基盤強化奨励事業選定審査会

期 間：平成29月～平成30年3月

派 遣：委員として1名

◎枚方なぎさ高等学校学校協議会

期 間：平成29月～平成30年3月

派 遣：委員として1名

【2】. 収益事業 該当なし